
4052. システム外CY搬入確認 (B/L単位) (事前登録)

業務コード	業務名
CYD01	システム外CY搬入確認 (B/L単位) (事前登録)

1. 業務概要

「システム外CY搬入確認（一括搬入）（CYE）」業務に先立ち、システム参加保税地域等*¹以外からCYに到着予定の輸入コンテナ貨物または仮陸揚コンテナ貨物について保税運送承認書等に基づき、B/L番号単位に事前情報の登録を行う。また、空コンテナの情報も本業務で登録する。

（注）事故があったコンテナ貨物については、本業務ではなく「システム外CY搬入確認（B/L単位）（CYD）」業務を行う必要がある。

登録した事前情報はCYE業務が行われるまでの間、任意に訂正または削除することができる。

登録した事前情報はCYE業務が行われない場合は、一定期間経過後システムから削除される。

（*1）システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請（TYC）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

2. 入力者

CY

3. 制限事項

- ① 1業務で入力可能なコンテナ番号は最大200件とする。
- ② 1コンテナに対して登録可能なB/L番号は最大30件とする。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）貨物情報DBチェック

（A）登録の場合

入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ① 予備申告で作成された貨物情報DBであるか、または「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務で作成された、混載親の旨が登録された貨物情報DBであること。
- ② 到着即時輸入申告扱いまたは貨物到着前輸入申告扱いの予備申告の登録がされている輸入貨物の場合は、本申告起動前であること。
- ③ 「積荷目録情報登録（MFR）」業務、「簡易貨物情報登録（SCR）」業務、システム外搬入確認された貨物でないこと。

（B）訂正または削除の場合

- ① 入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ② 本業務が行われていること。
- ③ CYE業務が行われていないこと。
- ④ 本業務の登録利用者と入力者が同一であること。

(4) コンテナ情報DBチェック

(A) 登録の場合

入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在した場合は、以下のチェックを行う。

- ①本業務が行われているか、または削除表示が設定されていること。
- ②本業務の登録利用者と入力者が同一であること。
- ③B/L番号の入力がある場合は、コンテナに登録可能なB/L件数を超えないこと。
- ④C Y E業務が行われていないこと。

(B) 訂正の場合

(a) B/L番号の入力がある場合で、入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在した場合は、以下のチェックを行う。

- ①本業務が行われていること。
- ②本業務の登録利用者と入力者が同一であること。
- ③B/L番号の入力がある場合は、コンテナに登録可能なB/L件数を超えないこと。
- ④C Y E業務が行われていないこと。

(b) B/L番号の入力がない場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②本業務が行われていること。
- ③本業務の登録利用者と入力者が同一であること。
- ④C Y E業務が行われていないこと。
- ⑤実入りコンテナである旨が登録されていないこと。

(C) 削除の場合

B/L番号の入力がない場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②本業務が行われていること。
- ③本業務の登録利用者と入力者が同一であること。
- ④C Y E業務が行われていないこと。

(5) 船舶DBチェック

入力された船舶コードが「9999」以外の場合は、船舶DBが存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 貨物情報DB処理

(A) 登録の場合

- ①入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在しない場合は、貨物情報DBを作成する。
- ②入力された貨物情報を登録する。
- ③入力されたコンテナに収容した旨を登録する。
- ④当該C Y への一括搬入が必要な旨を登録する。

(B) 訂正の場合

- ①入力された貨物情報を更新する。
- ②入力されたコンテナに収容した旨を登録する。
- ③コンテナ番号が取り消された場合には、コンテナに収容した旨を取消す。

(C) 削除の場合

入力されたB/L番号に予備申告された旨が登録されているか、または混載親の旨が登録されている場合は、貨物情報を取り消す。予備申告されていない場合または混載親の旨が登録されていない場合は、貨物情報DBを削除する。

(3) コンテナ情報DB処理

(A) 登録の場合

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在しない場合は、コンテナ情報DBを作成する。
- ②削除表示が設定されている場合、削除表示を解除する。
- ③入力されたコンテナ情報を登録する。
- ④当該CYへの一括搬入が必要な旨を登録する。
- ⑤B/L番号の入力がある場合は、入力されたB/L番号を登録する。

(B) 訂正の場合

(a) B/L番号の入力がある場合

(ア) 追加されたコンテナ番号がある場合

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在しない場合は、コンテナ情報DBを作成する。
- ②削除表示が設定されている場合、削除表示を解除する。
- ③入力されたコンテナ情報を登録する。
- ④当該CYへの一括搬入が必要な旨を登録する。
- ⑤B/L件数を加算する。

(イ) 取り消されたコンテナ番号がある場合

- ①B/L件数を減算する。
- ②本入力により当該コンテナに係るすべてのB/L情報が削除された場合は、コンテナ情報DBを削除する。

(ウ) コンテナ番号に変更がない場合

入力されたコンテナ情報によりコンテナ情報DBを更新する。

(b) B/L番号の入力がない場合

入力されたコンテナ情報によりコンテナ情報DBを更新する。

(C) 削除の場合

(a) B/L番号の入力がある場合

貨物情報DBに登録されているコンテナ番号に対して以下の処理を行う。

- ①B/L件数を減算する。
- ②本入力により当該コンテナに係るすべてのB/L情報が削除された場合は、コンテナ情報DBを削除する。

(b) B/L番号の入力がない場合

コンテナ情報DBを削除する。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
搬入時自動起動取消通知情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 削除である (2) 当該貨物に搬入時申告の旨が登録されている	搬入時申告登録者

7. 特記事項

本システムにおいては、貨物情報DB、輸入申告DBを相互利用するように設計されている。本業務を実施する際には、他利用者で作業が進んでいることが考えられるので、十分注意する必要がある。

貨物情報DBと輸入申告DBで相互利用している項目は、荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号、個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号、船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コードだが、本業務では、輸入申告DBの変更はしない。したがって、「輸入申告事項登録（IDA）」業務が既に行われている場合には、貨物情報DBと輸入申告DBの内容を一致させるため、別途IDA業務により輸入申告情報の変更を行う必要がある。